

1. 件名：実施計画の審査の進捗状況等に係る面談
2. 日時：令和2年5月11日（月）16時00分～17時15分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、松井安全審査官、  
伊藤係長、市森審査係、田上審査係  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室 担当者 3名
5. 要旨  
東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき以下について説明があった。
  - 実施計画変更認可申請の状況について
  - 1号機 FPC ポンプの電動機取替えについて
  - 次回特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
    - ✓津波対策については、第80回の検討会で指摘のあった建屋開口部の閉塞の優先順位をつけるにあたっての考え方、開口部の区分・の閉塞の進捗状況について説明が可能。
    - ✓4月21日に内閣府から公表された日本海溝・千島海溝地震による津波想定を踏まえた検討について、現在内閣府に情報開示請求を行い順次解析を進めているところであり、途中経過については説明が可能。
    - ✓放射性分析施設第2棟については、第79回の検討会におけるコメントへの回答及び安全設計（未臨界性、耐震性、遮蔽等）について説明が可能。安全設計については、説明が必要な内容を教えてほしい。
  - 沖合の海底に存在する波高計の撤去について
    - ✓沖合に沈んでいる波高計の撤去を予定しているが、事故分析に支障がでないか教えてほしい。

○原子力規制庁は、実施計画変更認可申請について、東京電力に大型廃棄物保管庫の設置に係る申請等の審査の進捗状況を説明し、必要な補正申請を速やかに提出することを求めた。また、次回の検討会の議題等について、以下のコメントを伝えた。

【次回特定原子力施設監視・評価検討会の議題について】

- 建屋開口部の閉塞について、3.11 級津波に対して閉塞が必要な高さを説明すること。また、内閣府から公表された津波想定の高さに対しても対策が十分か否かについて説明すること。
- 運転上の制限の設定に係る見直しについては、先月発生した窒素ガス封入設備に係る運転上の制限の逸脱事象も踏まえつつ、お互いの問題意識の共有のために、優先的に見直す項目について議論することを考えている。
- 放射性物質分析第2棟設置に係る安全設計については、今月実施計画の変更認可申請が提出された後、論点を整理して提示する。
- 建屋滞留水処理の進捗状況については、1～3号機のドライアップに向けた工程並びに除染装置スラッジ移送装置の設置に係る工程及び当初の予定から遅れが発生した原因について説明すること。

【沖合の海底に存在する波高計の撤去について】

- 沖合に沈んでいる波高計の撤去の可否については、関係者と調整して改めて連絡する。

【その他】

- ウェブ会議システムを用いて開催した第80回の検討会において、東京電力の音声が途切れ聞こえにくくなる事象が度々発生した。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止のために同様の形式での開催を継続する可能性が高いため、円滑に議論を行うためにもインターネット回線の強化などの対策を検討すること。
- 長期保守管理計画に係る評価の進捗状況を報告すること。

## 6. 資料

- 実施計画変更認可申請の状況および今後の申請予定
- 1号機 FPC ポンプの電動機取替に関する補足説明資料
- 特定原子力施設監視・評価検討会 第81回会合の議題に関するご相談
- 福島第一原子力発電所波高計の設置箇所情報の誤りについて（2019年8月20日付け東京電力プレスリリース「福島第一原子力発電所波高計の設置箇所情報の誤りについて」の別紙）

以上